

の公害防止意識の高揚を図っていきたくと考えている。

(環境政策課)

○その他の質問項目

「熊谷駅前広場の改修について」ほか

農家への直接的支援の拡大を

桜井 くるみ 議員

深谷、行田市などの近隣市では土地改良区の適正化事業に補助が出ているが、本市でも出せないか。また、平成十七年施行の土地改良事業補助金交付要綱には五年後には検討するとの案があるが、どうか伺いたい。

答

土地改良区が行う維持管理は、土地改良法に基づき、各土地改良区が経費の分担を定款で定め、受益者からの賦課金で賄っている。土地改良施設維持管理適正化事業については、各土地改良区が特別徴収金を充てることを総会等で議決を経て、計画的に事業を実施していることから、厳しい財政状況等を勘案すると新たな市単独補助は困難と考えている。また、この補助金交付要綱は、平成十七年十月、一市二町の合併時に三つの交付要綱を統合して制

定し、五年を経過した後、補助制度について必要に応じ見直しを行うよう制定されたものだが、現時点では見直しの考えはない。

(農地整備課)

○その他の質問項目

「公共交通会議と市内循環バス」ほか

今年も派遣切り、雇止めで生活困窮者が増えることが予想されますが、本市の失業・生活困窮時の緊急支援強化について

問

林 真佐子 議員

年末年始は、市役所だけでなく、多くの公的機関、金融機関は休みとなるが、緊急相談は「まったなし」である。緊急相談窓口を年末年始も開き、生活困窮者への援助を滞りなくできるようにすべきと考えるがいかがか。

答

福祉資金貸付を含めた年末年始の緊急相談窓口の設置については、ハローワークにおいて、雇用・住居・生活支援の相談を一つの窓口で行えるワンストップサービスの実施を管内の自治体や社会福祉協議会と、年末年始の休業前に、実施する方向で進めている。その中で社会福祉協議会が行う福祉資金貸付の

相談についても行っていく考えである。

(福祉課)

○その他の質問項目

「後期高齢者医療制度の廃止を求めていくことについて」ほか

下水道雨水幹線整備について

新井 昭安 議員

荒川第二雨水幹線の整備状況および事業の継続について、伺いたい。

答

平成三年度から放流先は公共交通と協議を重ねてきた。国土交通省と協議を重ねてきた。工事は平成七年度から平成十六年度まで実施し、放流先から熊谷商業高校付近まで完了している。この幹線については、多くの事業費を要することから、現在、計画条件の見直しによる、管口径の規模縮小などコスト削減に向けた検討を行っており、事業効果を見極めながら整備方法を検討していく。また、近年、予測を超える局地的集中豪雨が多発している状況にもあり、雨水対策の重要性は十分認識している。この事業についても継続して検討を進めていく。(下水道課)

ゴミ収集業務委託について

笠原 秀雄 議員

問

①現状で委託一〇〇%にした場合の経費削減額は②一〇〇%委託実現に向けた市の見解について、それぞれ伺いたい。

答

①現在の状況で委託五十五%を一〇〇%にした場合の経費削減額は約一億二千二百九十万円である。②これまで行政改革推進委員会の答申に基づき民間委託の推進を図るべく、検討を行った結果、本年四月から妻沼地域を全面委託とし、委託率五十五%となった。本市としては直営と委託が互いに競争意識を持ちながら切磋琢磨することにより良好な市民サービスが維持できると考えており、当面、この割合を維持し将来的には見直しを考えていきたい。(環境美化センター)

南運動場(市営球場)について

大久保 照夫 議員

問

南運動場を多目的広場の公園にするとのことだが、今後は南運動場に替わ

り安心して野球のできる施設整備について、伺いたい。



解体工事が進む南運動場

答

野球場の代替施設と使用方法については、熊谷さくら運動公園の自由広場や野球場、荒川緑地グラウンドの整備を計画的に進めるとともに、施設の年間利用計画についても、事前に関係団体と協議を行い、使用回数に一定の基準を設け、各施設を利用できるように努めていきたい。また、熊谷さくら運動公園の自由広場の整備として、少年野球の練習に支障の無いように防球ネットやバックネットを設け、一部グラウンドの整備を行っていく。(公園緑地課)

○その他の質問項目

「新たな観光施策について」